

第 2 期葛城市総合戦略 重要業績評価指標（KPI）達成度報告シート

A	目標達成
B	目標達成には届かないが伸びている
C	目標から遠くなっている
D	評価不可（実績記入無し）

資料 4

重要業績評価指標 (KPI)		実績値					目標値 (R 6)	達成率		内部評価		目標値 (R 8)		外部評価	
		平成30年度 (策定時)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度						目標値 (R 8)	左記目標値の考え方	評価者A	評価者B
①	子育て世帯 (18歳未満 の子どもを 有する世 帯) 数	3,855世帯 (H30)	3,820世帯	3,840世帯	3,839世帯	3,851世帯	4,000世帯	96.3%	B	施策の 進捗状況	出生や、子育て世帯の転入等により微増傾向。	4,000世帯	人口減少社会において、大幅な子育て世帯の増加は見込みにくいため、目標値を維持。	少子化の中ではば目標値に達成していることから事業活動として評価できる。今後については各種支援策等の利用者満足度など聞き取ってさらなる充実による増加を目指されたい。	内部評価記載のとおり、人口減少、少子化という現象がみられる中、住民ニーズ踏まえ、市のPR棟、市が行う様々な施策の効果が出ています。目標には届いていないとはいえ、伸びていることは評価できます。
										今後の 方向性 (考え方)	引き続き、子育てしやすい街としての魅力を高めるための各種施策を行う。				
②	子どもを有する44歳以下の女性の就労率	62.99% (H30)	65%	80%	78.0%	76.0%	76.5%	99.3%	B	施策の 進捗状況	目標値を達成できている年度もあり、進捗に問題なし。	76.5%	就労を希望しない子育て世帯の女性も一定数いることから、目標値の引き上げは行わず現在の目標を維持。	目標値は達成されていることは評価できる。なお、就労を希望しない女性は環境が整っていないからなのか等の分析をして就労に結びつけること可能か調べる必要があろう。	内部評価記載のとおり、住民の自助組織による母親の仕事継続できる支援、教育環境の整備等の効果がでてきています。ば目標値を達成していることは評価できます。
										今後の 方向性 (考え方)	現状本指標においては一定の水準を達成している。就労率については、経済動向等多様な要因で変動するため、指標の見直しを検討する必要がある。				
③	学童保育所における出前講座の回数	10回 (RI見込み)	0回	0回	0回	0回	30回	0.0%	C	施策の 進捗状況	新型コロナウイルス等の影響により、開催できていなかったが、令和6年度については、14回開催した。	15回	学校の長期休暇期間等に保育の充実を図るため一定の開催数は維持する方針。	新型コロナによる実施が難しい時期はあったが、直近においての0回というのは評価できない。事業目的は重要なものであるので速やかに実施して効果をあげられたい。	内部評価記載のとおり、学童保育の出前講座が全くできていない原因はどこにあるのか検討する必要があります。目標値が30回となっていますが、現状はゼロなので、令和8年度の目標がこれでもいいのか、目標を達成するための手段を検討する必要があります。
										今後の 方向性 (考え方)	学童保育所に限定する理由等を精査し、指標の見直しを行う必要がある。				
④	県外からの転入者数	506人 (H30)	554人	434人	638人	591人	540人 (※毎年度)	109.4%	A	施策の 進捗状況	「住みよいまち」=「住みたいまち」となるよう、全庁的に施策を進めており、結果として目標を上回る転入者数を獲得することができている。	600人	最新の実績値及び当初目標を超えて高い目標を設定する。	目標値を十分に達成しており評価できる。今後も効果的な移住推進方策を実施されたい。	内部評価記載のとおり、大阪圏、東京圏からのUIJターン促進策、地域活動の活性化による地域力の向上等を実施することによって、目標値を達成しており、よい評価ができます。
										今後の 方向性 (考え方)	今年度も「市民第一の住みよいまちづくり」の理念のもと実施する市の政策により県外転入者が増加するものと思われ、市は各取組を強化していく。				

重要業績評価指標 (K P I)		実績値					目標値 (R 6)	達成率		内部評価		目標値 (R 8)		外部評価	
		平成30年度 (策定時)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度						目標値 (R 8)	左記目標値の考え方	評価者A	評価者B
⑤	葛城市が相撲発祥の地であることを認知している割合	市内：89% (H30)	市内95%	市内95%	市内89.5%	市内100%	市内：95%	105.3%	A	施策の進捗状況	目標を達成できている。令和5年度に実施した第1回けはやちゃんこ鍋コンテストの開催と、コンテスト入賞作品の給食提供や商品化なども貢献したと考えている。	市内：100%	R5年度の実績が市内：100%であるため、高い水準を維持する	特に市外の方の認知割合が年々増加しているのは評価できる。更なる増加を目指されたい。	内部評価記載のとおり、相撲イベント、相撲行事等の開催が効果を発揮し、目標値を上回る結果で出たことは評価できます。
		市外：39% (H30)	市外45%	市外45%	市外62.5%	市外66.6%	市外：45%	148.0%		今後の方向性 (考え方)	知名度を上げることを通じて、市外からの来訪につながったり、市民のシビックプライドの醸成につなげたりする。	市外：70%	現状が以前の目標値を超えているため、以前の目標値より伸ばす		
⑥	綿弓塚の来場者数	5,946人 (H30)	587人	487人	664人	4,377人	10,000人	43.8%	B	施策の進捗状況	目標の達成には届かないが伸びている。新型コロナウイルス感染症による客数減少から回復基調にある。	8,000人	コロナショック以前の水準に戻りつつあり、さらに市内外へのPRを強化することによる客数増加を考慮し、目標値を設定した。	ピンポイントな史跡への誘導は難しく現状の実績数は致し方ないが、PRの工夫を行ってもらいたい。	内部評価記載のとおり、目標値と大幅に乖離しています。伸びてきているので、いい傾向であると評価できます。目標の見直し、どのようにしていくかという見直しが必要であるでしょう。
										今後の方向性 (考え方)	市内外へのPRを強化し、客数の増加を目指す。				
⑦	相撲館への外国人来場者数	1,175人 (H30)	0人	19人	812人	2,749人	2,000人	137.5%	A	施策の進捗状況	目標を達成できている。海外からの団体ツアー客が増えており、順調に推移している。	3,000人	現状が以前の目標値を超えているため、以前の目標値より伸ばす	訪日外国人客の増加に比例して来場者が増加し、目標値を超えた実績であることは評価できる。今後も訪日外国人客が右肩上がりに増加するかは不透明である中で上げた目標値への達成努力を求める。	内部評価記載のとおり、目標値を超えて達成しており、施策の効果が出ていることはよい評価ができます。
										今後の方向性 (考え方)	今後も積極的にPRし、市内に経済効果をもたらす取組を進めていく。				
⑧	市内の販売農家数	585戸 (H27)	439戸	439戸	440戸	440戸	600戸	73.3%	B	施策の進捗状況	目標を達成できていない。	600戸	R6目標が未達見込みのため、R6目標と同じ値とした。	実績は目標値の約4分の3であるが、目標値の設定となった実績時点との状況変化からやむを得ない面もあるように思われ、その変化を適格に把握して目標値達成への努力を求める。	内部評価記載のとおり、目標値が達成できていません。また、現状、販売農家数は増えていません。目標としての600戸が可能なか、耕作意欲の向上等の施策を検討する必要があります。
										今後の方向性 (考え方)	経営所得安定対策等の活用を促し、離農者の抑制、新規就農者の増加を目指す。				
	【修正】外部評価後											450戸	高齢化による減少と、担い手育成により集約化をはかるための減少があるが、新規就農者を増やすことにより、令和5年度の実績値より微増の目標値とした。		

重要業績評価指標 (K P I)		実績値					目標値 (R 6)	達成率		内部評価		目標値 (R 8)		外部評価	
		平成30年度 (策定時)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度						目標値 (R 8)	左記目標値の考え方	評価者A	評価者B
⑧	2つの道の駅の売り上げ高	1,121 百万円 (H30)	道の駅 かつらぎ： 1,012,621千円 ふたかみパーク 當麻： 227,614千円 合計： 1,240,235千円	道の駅 かつらぎ： 1,070,071千円 ふたかみパーク 當麻： 238,565千円 合計： 1,308,636千円	道の駅 かつらぎ： 1,152,717千円 ふたかみパーク 當麻： 235,953千円 合計： 1,388,670千円	道の駅 かつらぎ： 1,205,665千円 ふたかみパーク 當麻： 235,639千円 合計： 1,441,304千円	1,238 百万円	116.4%	A	施策の 進捗状況	目標を達成できている。	1,633 百万円	R6の目標は既に達成できているため、新たな目標を設定。 H30～R5まで年平均64百万円売上高増。その伸び率をR8まで反映した。	目標値を十分に達成しており評価できる。物価が上昇するので実質的な売上増加となるよう努力されたい。	内部評価記載のとおり、目標値を超えて達成しており、施策の効果が出ていることはよい評価できます。
			今後の 方向性 (考え方)	道の駅と密にコミュニケーションをとり、引き続き必要な支援を行っていく。											
⑨	【R5年度まで】 生活支援コーディネーターによる住民力支援に向けた取り組み件数	279 (H30)	325	396	518	629	330	190.6%	A	施策の 進捗状況	生活支援コーディネーターは、外部委託して実施している。高齢者が地域内で暮らし続けるための助け合い活動が地域内で進むように地域（個人、団体など対象は様々）を支援している。			目標値を大幅に超えた実績があり評価できる。高齢者が増加しているので計画している支援策が効果的となるように求める	内部評価記載のとおり、目標値を超えて達成しており、施策の効果が出ていることはよい評価できます。
	【R6年度から】 生活支援コーディネーターが住民主体の助け合い活動の基盤づくりを目的として関わった大字の数	30大字 (R5実績値)								44大字	生活支援コーディネーターの活動（生活支援体制整備事業として委託）において「全大字に住民主体の助け合い活動が創出されること」を目指している。そのために、地域課題の把握や小コミュニティでのワークショップの実施などを重ねている。地域からのリアクションには可能な限り対応しており、目標値には全大字数を設定している。				

重要業績評価指標 (K P I)		実績値					目標値 (R 6)	達成率		内部評価		目標値 (R 8)		外部評価	
		平成30年度 (策定時)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度						目標値 (R 8)	左記目標値の考え方	評価者A	評価者B
⑩	自主運動教室の実施箇所数	18 (H30)	20	22	24	23	24	95.8%	B	施策の進捗状況	新規教室の立ちげ支援は年間2箇所を目標として行っており、R 6には目標値に到達する予定である。	26	高齢者を中心とした教室のため、既存の教室が解散することある。それを加味して、年1箇所の増加と設定。	着実に目標値に向けて数を増やした点はそれなりに評価できる。解散する教室もあるようだが自主性を尊重しつつ継続可能なサポートも考えられたい。	内部評価記載のように、実績推移をみましても、令和6年も継続していけば、令和6年に目標値を達成できる見込みであることは望ましいことです。
										今後の方向性 (考え方)	主に高齢者を中心とした地域のつながりづくり、高齢者のフレイル予防を目的として、今後も事業は継続予定である。				
⑩	健康寿命 (65歳平均自立期間)	男性： 18.33 (県内17位) (H28)	男性：19.25 (県内4位) (H29-R1)	男性：18.81 (県内8位) (H30-R2)	男性：18.77 (県内12位) (R元-R3)	男性：18.53 (県内15位) (R2-R4)	男性： 19.42 (県内3位以内)	95.4%	C	施策の進捗状況	直近値では男性は18.53年（策定時より0.2年の延伸）、女性は20.64年（策定時より0.01年の短縮）となった。健康増進計画の推進を通して、関係団体と協議をしながら健康づくりがしやすいまちづくりの推進は着実に実施をしている。第3期葛城市健康増進計画「きらり葛城21」を令和5年度に策定し葛城市の現状を分析し、今後の行動計画も策定している。	男性： 18.53 (県内15位)	健康寿命の計算方法に関係のある、本市の介護認定率（要介護2以上）は、平成30年度から令和5年度の5年間で約2%上昇している。人数にして、第1号被保険者数ベースで約200人増加となり、現行KPIの目標達成についてはマイナスに作用する。一方、健康寿命を延伸していくために、「きらり葛城21」に基づく行動計画等に基づく対策を着実に実施し、介護認定率の増加に起因するマイナス要素との両立を図り、平成30年度、令和5年度の実績値同等以上の水準に目標設定する。	目標値との乖離は少ない点はそれなりに評価できる。ただ、平均余命が伸びている昨今において、医療費の増加を抑える意味でも健康寿命を伸ばす努力は必要とされる。	施策を実施しているが、介護認定率が上がっていく状況の影響もあるのだろうか。目標値にはとどいていません。目標値の設定、施策をどうしていくのか検討することが望まれます。
		女性： 20.65 (県内20位) (H28)	女性：20.82 (県内21位) (H29-R1)	女性：20.98 (県内17位) (H30-R2)	女性：20.75 (県内21位) (R元-R3)	女性：20.64 (県内20位) (R2-R4)	女性： 21.97 (県内5位以内)	93.9%		今後の方向性 (考え方)	健康寿命の延伸に向けて、介護認定率（要介護2以上）も影響があるため、介護保険課、地域包括支援課との連携し、介護予防に向けた取組がより一層必要である。また、第3期葛城市健康増進計画「きらり葛城21」の着実な推進を行っていく必要がある。	女性： 20.65 (県内20位)			

重要業績評価指標 (K P I)		実績値					目標値 (R 6)	達成率		内部評価	目標値 (R 8)		外部評価	
		平成30年度 (策定時)	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度					目標値 (R 8)	左記目標値の考え方	評価者A	評価者B
⑪	個人番号 カード（マイナンバー カード）の 配布枚数	3,567枚 (H30)	11,025枚	18,244枚	26,811枚	30,184枚	36,310枚	83.1%	B	施策の 進捗状況	34,500枚	当初の目標作成時は人口の約97%であったが、マイナンバーカードを推進する中で作成を拒否する方もおり、現在、国の交付率も78.7%ということからも2年で97%は困難と判断。約90%に目標値を下げた。	目標値は下回るも仕方のない側面はある。	着実に配布枚数はふえてきています。 国の交付率と対比しても配布枚数普及は進んでいます。 目標値の修正は適切であるでしょう。 成果は着実にできてきていることから好ましい結果です。地道に継続していくことが望まれます。
										今後の 方向性 (考え方)				
⑫	葛城市コミュニティ バス（環状線ルート） の年間利用者数	32,226人 (H30)	22,282人	26,521人	32,834人	36,440人	35,500人	102.6%	A	施策の 進捗状況	49,600人	R6の目標は既に達成できているため、新たな目標を設定。R2～R5まで年平均4700人増。その伸び率をR8まで反映した。	年々利用者が増加して目標値に達成しており評価できる。更なる利用者の増加に努力されたい。	目標値を超えて達成しており、施策の効果が出ていることはよい評価できます。 R 8 までに、さらに利用者を増やすには、更なる利便性向上のための施策が望まれるでしょう。
										今後の 方向性 (考え方)				